

第4節

人づくり・地域づくりの推進

4-1. 環境教育・学習の推進

4-1-1 環境教育・学習の基盤整備

【水素学習室等を活用した環境学習】（再掲：1-1-1 水素エネルギーの利活用の推進）

★**方向性・目標** 本市の地域資源である、コンビナート企業から副生する水素に関する取組などを学べる水素学習室や水素ステーション等を活用し、エネルギーや環境保全について学ぶ機会を提供します。

4-1-2 環境教育・学習の拡充

【しゅうなん出前トーク（学び・交流プラザ）】

市政に対する理解を深めていただくため、市職員が直接、市民の皆さんのところへ出向き、市の施策や事業について分かりやすく説明するとともに、意見交換を行う「しゅうなん出前トーク」を実施しています。令和元（2019）年度は環境関連のテーマで46件、2,031人の受講がありました（表4-1参照）。

表4-1 しゅうなん出前トーク（〔分野〕環境・水道中の環境関連テーマ）実施状況

講座名	件数	人数
快適な水環境を守る「下水道」	5	207
水素を活用したまちづくり	15	956
ごみの分け方・出し方	22	693
周南市の環境について	3	150
周南市エコすごろく	1	25
計	46	2,031

★**分析と課題** 「しゅうなん出前トーク」は市民の皆さんが市の施策や事業について理解するための制度として定着してきています。

★**方向性・目標** 「水素を活用したまちづくり」や「ごみの分け方・出し方」、「周南市エコすごろく」などの環境関連のテーマに基づいて講座や意見交換会などの講習会を開催します。

★**指標と数値目標**

指標	H30 基準値	R6 目標値	R1 現状値	指標の説明
しゅうなん出前トークの利用者数【人】	1,085	1,200以上	2,031	環境関連をテーマにした受講人数

【やまぐちエコリーダースクールの認証（学校教育課）】

山口県では環境保全に対する正しい理解を深め、主体的な行動がとれる児童・生徒を育成する、環境マネジメントシステムを取り入れ、全校規模で環境教育に取り組み、その成果が認められた学校を「やまぐちエコリーダースクール」として、市内では八代小学校が認証されています。

八代小学校ではギフチョウの飼育やナベツルの保護活動、その他生物の生息環境を守るための活動、リサイクル活動や花いっぱい運動など環境美化活動を行っています。

★**分析と課題** 地域の協力を得ながら進めています。活動を通じて、地域と関わりが増え

環境教育・環境学習だけでなく、地域でも子どもが活躍できています。

★方向性・目標 「やまぐちエコリーダーズスクール」への登録を推奨します。

【樹木観察会（公園花とみどり課）】

西緑地の樹木見本林や万葉の森を活用し、多くの市民が自然とふれあい、環境について学習することを目的に、樹木観察会を開催しました。5月に開催し、32人の参加がありました。

★分析と課題 公園愛護会に関わる方の参加により、各公園に樹木名板の取付・補修等、愛護会活動にも役立つため、今後も年1回の開催及び他講座での開催を予定しています。

★方向性・目標 「樹木観察会」を開催します。



【樹木観察会の様子】

【ツルの里案内人（生涯学習課）】

特定非営利活動法人ナベツル環境保護協会は、ツルの里案内人(ボランティアガイド)を設け、ツルの見学者に対し、野鶴監視所敷地内でツルの生態解説などを行っています。令和元（2019）年度は12月から3月の土・日・祝日を中心に行われました。

★分析と課題 特定非営利活動法人のボランティアガイドについて、自主的な取組による今後の継続を期待します。市では広くツル保護活動を知っていただけるよう、出前トークや県内外の学校、団体等の研修受け入れなど別の形での普及啓発を行っています。

★方向性・目標 地域住民を中心としたツル保護に対する普及啓発などの活動を支援します。

【エコツーリズム（観光交流課）】

地域ぐるみで自然環境や歴史文化など、地域固有の魅力を伝えるエコツーリズムは（一財）周南観光コンベンション協会や大田原自然の家により、令和元（2019）年度は市内で56回実施されました。（一財）周南観光コンベンション協会による、自然散策等のウォーキングツアーが定期的で開催され、毎回多くの参加があります。

★分析と課題 自然環境や歴史文化など、地域固有の魅力を伝えるエコツーリズムを今後も継続的に実施していきます。

★方向性・目標 地域資源や観光資源を活用し、自然環境や歴史文化を巡りながら地域固有の魅力を伝える体験型ツアーとして、ボランティアガイドの会などが実施する自然散策などの定期的なウォーキングツアーを支援します。

【徳山動物園インタープリテーションプログラム「T-ZIP」の開発（動物園）】

動物園で環境学習を進める効果的な方法として、動物についての解説に環境学習の視点をうまく取り入れた体験的な学習プログラム「T-ZIP」の令和2（2020）年度からの実施を目指して準備を進めています。T-ZIPは、動物園職員とボランティアが協力して行っていくプログラムであり、令和元（2019）年度は、プログラムのブラッシュアップと試行的な実施及び第2期のボランティアの募集を行いました。現在20名程度のインタープリターボランティアが登録しています。

★分析と課題 全国的にも前例がない取組であり、プログラム作りにはかなりの時間が必要で、また、プログラムを職員とともに支えてくださるボランティアの確保も重要です。令和2（2020）年からT-ZIPを来園者に対して本格的に実施していきます。

★方向性・目標 体験的な学習プログラム「T-ZIP」を開発し、動物園職員とボランティアが協力して実施していきます。



【インタープリター研修】

【大田原自然の家（生涯学習課）】

大田原自然の家は、青少年が自然に親しみながら、集団宿泊活動等を通じて、情操や社会性を豊かにし、青少年の健全育成を図る社会教育施設です。素朴な田舎体験や自然とのふれあいを求める方には最適です。

子どもから家族、一般、指導者を対象に様々な事業を実施し、令和元（2019）年度は191団体、延べ8,045人の利用がありました（図4-1参照）。

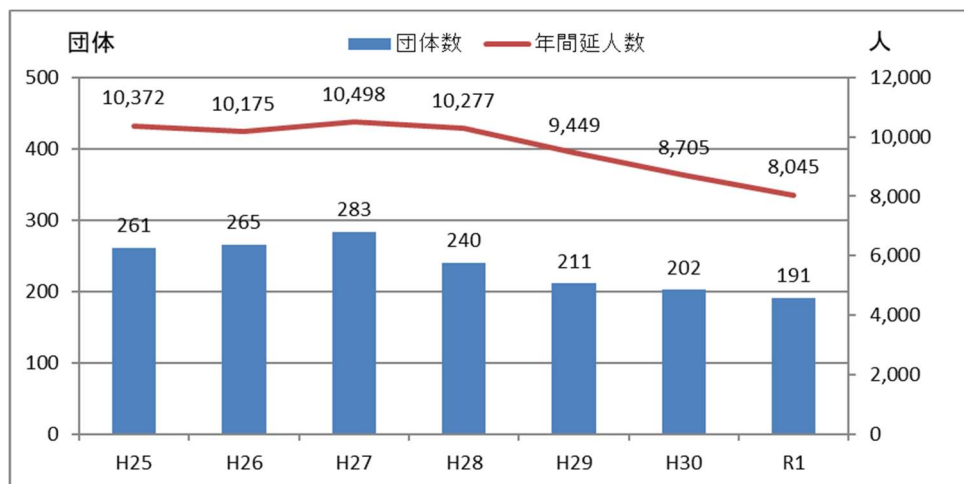
★分析と課題 利用者の安心・安全への配慮から、近年、悪天候が予想される際は主催事業や一般利用を中止することとしており、年間延べ利用者数は減少傾向にあります。

施設の老朽化が進み、また建物が土砂災害特別警戒区域に立地していることから、事業は継続するものの、他所へ移転することを決定し、移転先については検討中です。

新たな施設の準備が整うまでの間は、特に利用者の安心・安全を第一にした施設運営を行うこととしています。

★方向性・目標 豊かな自然に囲まれて様々な自然体験ができる大田原自然の家では、集団宿泊活動などを通じて、素朴な田舎体験や自然とのふれあいを楽しむ催しを実施します。

図4-1 大田原自然の家の利用状況



【キッズ・エコチャレンジ（環境政策課）】

児童が自主的に地球温暖化対策について考え、具体的に行動することを通じて環境意識を高めることを目的として、平成 21（2009）年度から周南市温暖化対策地域協議会（以下「地域協議会」という。）において「キッズ・エコチャレンジ」を実施しています。

これは小学校4年生から6年生を対象に、夏休み期間に温暖化対策について自分でできることを考え行動し、その結果をキッズ・エコチャレンジ大作戦シート（応募シート）に記入するものです。

令和元（2019）年度は、26 小学校、1,029 人が参加し、アイデア、独創性、実効性及び節電実績等について、地域協議会環境学習推進部会で審査の上、大賞 1 人、金賞 1 人、銀賞 7 人、銅賞 4 人、努力賞 7 人の計 20 人、また、学校賞として三丘・高水・大河内・今宿小学校の 4 校を表彰しました（図 4-2、表 4-2 参照）。

★分析と課題 教職員経験者を含む地域協議会環境学習推進部会の多大なる協力により、参加者数が増加しています。

★方向性・目標 小学校4年生から6年生を対象に、夏休み期間中、温暖化防止対策について自分たちができることを考え行動し応募シートにまとめ提出、その取組内容や努力を表彰することにより、環境問題に自ら取り組む習慣を育みます。

図4-2 キッズ・エコチャレンジ参加者数の推移

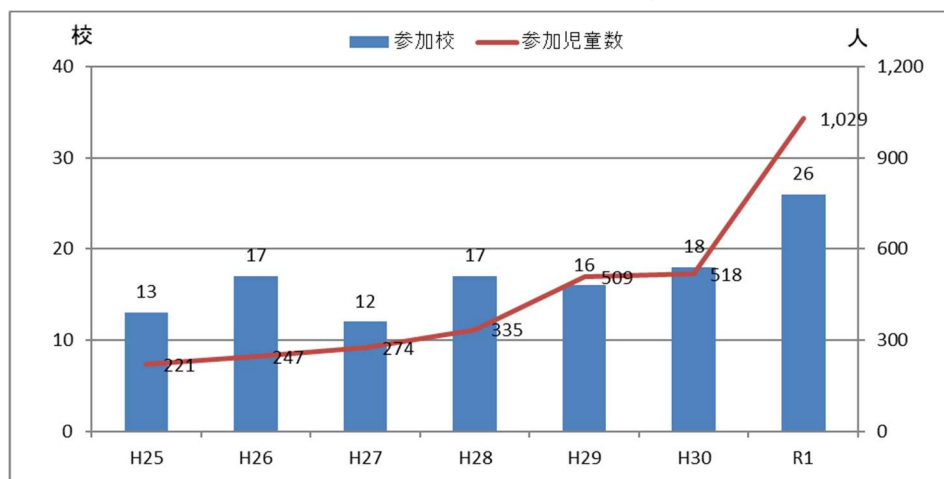


表 4-2 キッズ・エコチャレンジ 大賞及び金賞作品

賞	作品名	受賞者(学校・学年)
大賞	お風呂のお湯 エコチャレンジ大作戦	岐山小学校5年生
金賞	れいぞうこのドアのあけしめの回数をへらそう エコチャレンジ大作戦	菊川小学校4年生

【ごみ処理施設見学バスツアー（リサイクル推進課）】

家庭ごみの処理施設等の見学を通じて、リサイクルの仕組みを理解し、環境に対する意識高揚を目的に年1回開催しています。令和元（2019）年9月27日に「ごみ処理施設見学バスツアー」を開催し、28名の参加がありました。

★分析と課題 定員40名の貸し切りバスで、リサイクルプラザ・ペガサス、徳山下松港新南陽N7地区最終処分場、株式会社トクヤマ、恋路クリーンセンター（下松市）を見学します。

★方向性・目標 家庭ごみのゆくえと処理過程を学ぶバスツアーを催行し、ごみ処理施設の見学やリサイクルの仕組みを理解することで、循環型社会への意識の醸成を図ります。

【水の教室（上下水道局総務課）】

6月の水道週間を中心に、小学4年生の児童と保護者を対象とした環境学習事業で、飲み水ができるまでの工程と使用後の下水処理の工程を通じて、地球規模で行われている水循環の輪の中に私たちの生活が深く関わっていることを学習し、水を大切に使うこと、水を汚さないことが健全な水環境の継続につながることを啓発しました。



【水の教室の様子】

令和元（2019）年度は、9校、440人の参加がありました。

★分析と課題 毎年、「水の教室」を開催する常連校もあり、施設見学とともに定着してきています。今後も、小学校で水について学習する時期等に「水の教室」と施設見学を実施していきます。

★方向性・目標 小学校4年生とその保護者を対象に、地球規模で行われている水循環の輪の中に私たちの生活が深く関わっていることを学習する「水の教室」を開催します。

【水辺の教室（観光交流課、熊毛総合支所市民福祉課）】

令和元（2019）年度は水辺の教室を島地川、黒岩川で開催しました。

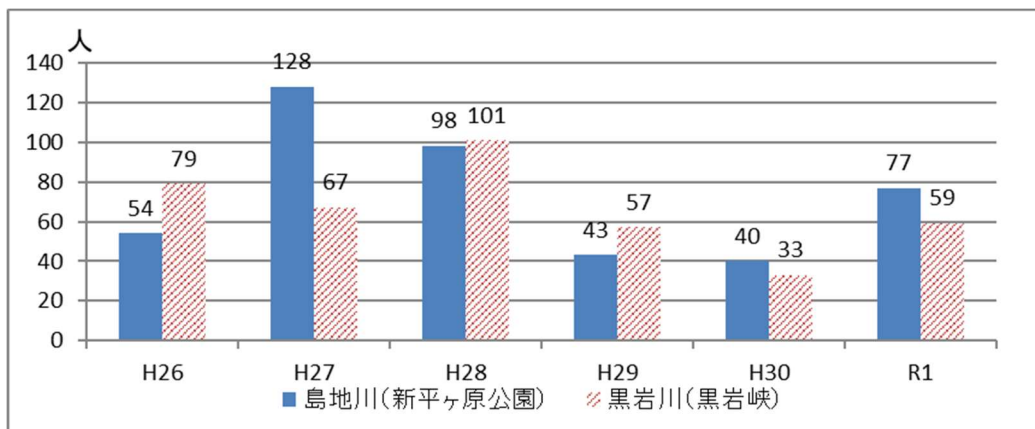
参加者数は、延べ136人で、指標生物の確認状況から判定する水質階級は、2箇所とも「きれいな水」に該当しました（図4-3、4-4、4-5、表4-3参照）。

★分析と課題 親と子が一緒になって、身近な河川等の水辺に親しむことで、そこに棲んでいる水生生物などを楽しく遊びながら観察し、自然をいたわる優しい心の醸成につながっています。

★方向性・目標 水生生物の確認状況から水質階級を判定する「水辺の教室」を市内2河川で開催し、水生昆虫の生息状況や水質保全の重要性を親子で学ぶ事業を実施します。

《第4節 人づくり・地域づくりの推進》

図 4-3 水辺の教室の参加者数の推移



※平成 30 (2018) 年度の黒岩川 (黒岩峽) は、中村川・河原畑川の調査分です。

図 4-4 水生生物調査結果の推移 (島地川: 新平ヶ原公園)

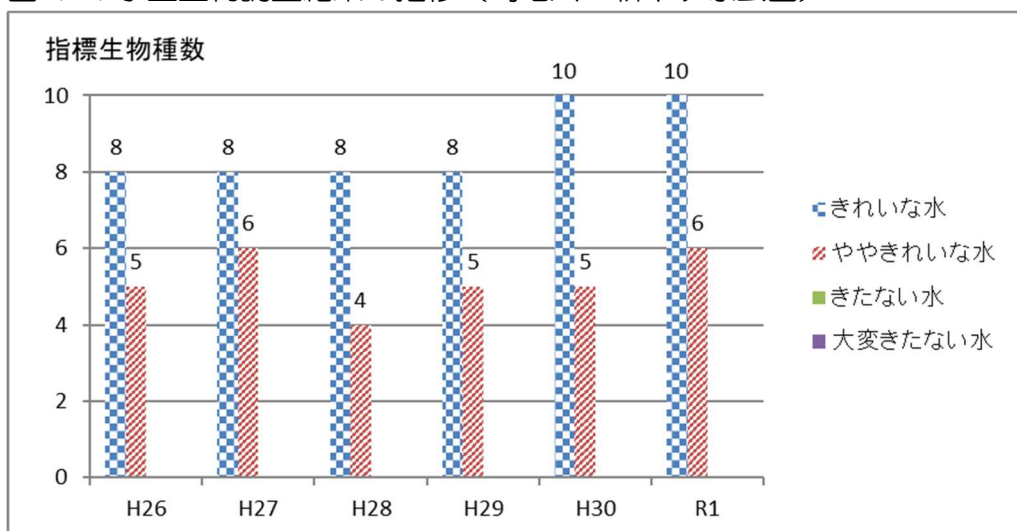
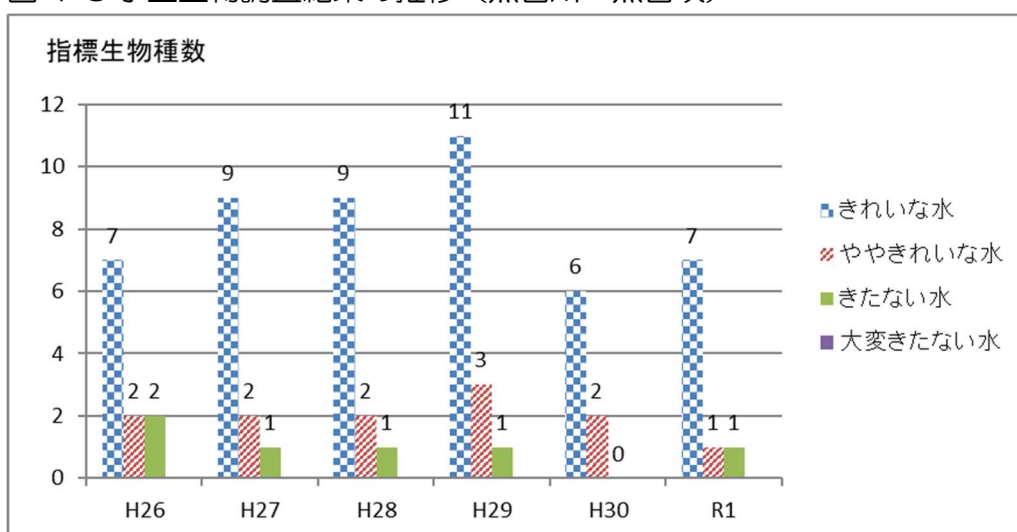


図 4-5 水生生物調査結果の推移 (黒岩川: 黒岩峽)



※平成 30 (2018) 年度は、中村川・河原畑川の調査結果です。

《第4節 人づくり・地域づくりの推進》

表 4-3 水辺の教室開催状況 水生生物の調査結果

調査場所名		島地川（新平ヶ原公園）				黒岩川（黒岩峡）				
調査日		令和元（2019）年7月31日				令和元（2019）年8月1日				
主催		島地川ダム周辺 環境整備地区管理協議会				周南市 熊毛環境衛生推進協議会				
参加者数（主催者を含む）		77人				59人				
水質		指標生物		見つかった指標生物の欄に○印を、数が多かった上位から2種類（最大3種類）に●印をつける。						
きれいな水	水質階級Ⅰ	1. カワゲラ類	○				○			
		2. ヒラタカゲロウ類	●				●			
		3. ナガレトビケラ類	○				●			
		4. ヤマトビケラ類	○				○			
		5. アミカ類								
		6. ヨコエビ類	○							
		7. ヘビトンボ	●							
		8. ブユ類					○			
		9. サワガニ	●							
		10. ナミウズムシ								
ややきれいな水	水質階級Ⅱ	11. コガタシマトビケラ類	○							
		12. オオシマトビケラ								
		13. ヒラタドロムシ類	○							
		14. ゲンジボタル								
		15. コオニヤンマ	●							
		16. カワナナ類	●				○			
		17. ヤマトシジミ								
		18. イシマキガイ								
きたない水	水質階級Ⅲ	19. ミズカマキリ								
		20. ミズムシ								
		21. タニシ類								
		22. シマイシビル					○			
		23. ニホンドロソコエビ								
		24. イソコツブムシ類								
大変きたない水	水質階級Ⅳ	25. ユスリカ類								
		26. チョウバエ類								
		27. アメリカザリガニ								
		28. エラミミズ								
		29. サカマキガイ								
水質階級の判定	水質階級		I	II	III	IV	I	II	III	IV
	1. ○印と●印の個数		7	4	0	0	5	1	1	0
	2. ●印の個数		3	2	0	0	2	0	0	0
	3. 合計（1.欄+2.欄）		10	6	0	0	7	1	1	0

《第4節 人づくり・地域づくりの推進》

【環境関連イベントの開催】

市では、ホタル観賞、星空観察会、清掃活動、地産地消推進、リサイクル推進などの環境に関するイベントを実施しています（表4-4参照）。

★分析と課題 環境技術展や環境ビジネス展あるいは環境をテーマとしたセミナー、シンポジウム等、数限りなく環境イベントがあり、楽しみながら環境を考える機会が必要です。

★方向性・目標 本市ではホタル鑑賞、星空観察会、清掃活動、地産地消推進、リサイクル推進などの環境に関するイベントを毎年多く開催し、環境保全への関心を高めます。

表4-4 環境関連イベント

開催時期	名称（内容説明）	参加人数	関係課
通年 平成31年4月～ 令和元年3月	大田原自然の家のイベント	8,045	生涯学習課
	豊鹿里パークのイベント	3,841	鹿野総合支所 産業土木課
平成31年 4月1日	城下町徳山の桜のトンネルを歩こう	15	観光交流課
4月1日～30日	大道理芝桜まつり	30,000	向道支所
4月3日	弾正糸桜と山野草めぐり	41	観光交流課
7月～10月	星空観望会（月・金星・火星・木星・土星・天の川・季節の星座などを観察）全5回	112	コアプラザかの
令和元年 5月3日、4日	永源山公園つつじ祭り	27,000	公園花とみどり課
5月18日	西緑地樹木観察会（西緑地の樹木見本林や万葉の森での観察会）	32	公園花とみどり課
6月	水の教室（飲み水ができるまでの工程及び使用後の下水処理の工程を通じて、地球規模の水循環の輪の中に私たちの生活が深く関わっていることを学習する。）	440	上下水道局総務課
6月1日	第28回トワイライトフェスティバル（ホタルの観賞、ホタルかご作り、俳句会、ハザーなど）	850	和田市民センター
6月1日	新庁舎オープニングイベント（燃料電池自動車及び外部給電デモ展示）	1,000	商工振興課
6月3日	ささゆり・紫陽花めぐり	22	観光交流課
6月7日、8日	ほたる観賞のタベ	3,000	向道支所
6月8日	ほたるのタベコンサート（ホタルの観賞、各種団体の生演奏など）	3,000	鹿野総合支所 産業土木課
6月8日	京都大学フィールド科学教育研究センター・周南市連携講座（第18回）（講義「森・里・海の環境について学ぼう」、試験地見学）	19	公園花とみどり課
6月16日	大潮ほたる祭り（ホタル観賞、ハザーなど）	400	鹿野総合支所 産業土木課
7月31日	森と湖に親しむ集い	77	観光交流課

《第4節 人づくり・地域づくりの推進》

開催時期	名称（内容説明）	参加人数	関係課
8月1日	親と子の水辺の教室	32	熊毛総合支所市民福祉課 熊毛環境衛生推進協議会
8月4日	第15回周南市エコフェスタ（牛乳パックでびっくり箱作製、南天の木・フウセンカズラの種で「難を転じて苦が去る」縁起物作製、廃材・古着でウォールポケット作製、新聞紙・段ボール箱でエコバッグ・フォトフレーム作製、リサイクル工作のおもちゃで遊ぶコーナー、空き缶プレスカー見学・パッカー車試乗体験、リユース品抽選会）	296	リサイクル推進課
10月5日	ツルのねぐら整備ボランティア（ナベツルのねぐらと餌場の整備）	200	生涯学習課
10月13日	周南みなとまつり（燃料電池自動車及び外部給電デモ展示）	5,000	商工振興課
10月13日	永源山公園ゆめ風車まつり	6,500	公園花とみどり課
10月5日	京都大学フィールド科学教育研究センター・周南市連携講座（第19回）（実演体験「檜皮ぶき屋根」、西緑地の見学）	27	公園花とみどり課
10月26日	やまぐち産業維新展（燃料電池自動車及び外部給電デモ展示）	10,100	商工振興課
10月26日	まちと森と水の交流会	約350	農林課
10月27日	周南こどもゆめまつり	10,000	熊毛総合支所 地域政策課
10月30日	永源山公園「ゆめ風車」チューリップ満開作戦（チューリップの球根を植えてもらうイベント）	177	公園花とみどり課
11月3日	長野山と漢陽寺の紅葉散策	20	観光交流課
11月3日、4日	周南ふるさとふれあい物産展（燃料電池自動車及び外部給電デモ展示）	60,000	商工振興課
11月9日、10日	ルーラル315・376フェスタ（沿線の朝市や催し物を結ぶ地域イベントで市内の会場で農山村漁村の女性たちが中心となって朝市やイベント、体験コーナーを開催）	1,480	農林課
11月16日	徳山商工文化祭（燃料電池自動車及び外部給電デモ展示）	1,642	商工振興課
11月17日	周南市・市民総合防災訓練2019（燃料電池自動車及び外部給電デモ展示）	500	商工振興課
11月24日	くまげ鶴の里ウォーク大会	803	熊毛総合支所 地域政策課
12月8日	周南ゆめ物語（燃料電池自動車展示）	5,300	商工振興課
令和2年 2月16日	第16回周南市エコフェスタ（新聞紙でエコバッグ・ごみ箱・防災グッズ・空き缶リメイクの作製、発電体験・ストライクゾーン遊び・竹とんぼ作り・クラフトパッカー車作りのスタンプラリー、パッカー車・空き缶プレスカー展示、ごみ処理施設見学、再生自転車の展示販売、環境問題パネル展示、リユース品抽選会）	380	リサイクル推進課

4-2. 地域住民、団体などと連携した環境保全活動

4-2-1 地域住民、団体等の連携・協働による取り組みの推進

【環境アドバイザーなどへの登録数（環境政策課）】

山口県は地域で行われる環境に関する学習会、講演会等を利用した環境に対する体験学習、工作教室等に対し、「環境アドバイザー（講演型環境学習指導者）」又は「環境パートナー（体験型環境学習指導者）」の派遣制度を設けています。また、環境省のエコクラブ事業に基づき、こどもエコクラブに対し運営面及び実践活動について指導や助言を行う「こどもエコクラブアドバイザー」を派遣しています（表4-5参照）。

★分析と課題 環境アドバイザー等を増員し、学習活動が行いやすい環境にする必要があります。

★方向性・目標 各地域で行われる学習会や講習会をはじめ環境体験学習や工作教室などに派遣できる、山口県が認定の「環境アドバイザー」及び「環境パートナー」の登録や活動についての情報を発信します。

表4-5 周南市在住の環境ボランティア

名称	人数	名称	人数
環境アドバイザー	5人	こどもエコクラブアドバイザー	3人
環境パートナー	9人	地球温暖化防止活動推進員	3人

山口県環境学習推進センターHPより

http://eco.pref.yamaguchi.jp/learning/manabu/ap_search.htm

【こどもエコクラブの活動促進（環境政策課）】

こどもエコクラブとは、幼児（3歳）から高校生までならだれでも参加できる環境活動のクラブです。環境省へ申請登録すると、子どもたちが楽しみながら、環境保全活動や学習が行える資料配布等の支援を受けることができます。

令和元（2019）年度の登録はありません（表4-6参照）。

★分析と課題 子どもたちの環境保全活動や環境学習を支援することにより、子どもたちが人と環境の関わりについて幅広い理解を深め、自然を大切に思う心や、環境問題解決に自ら考え行動する力を育成し、地域の環境保全活動の環を広げることが必要です。

★方向性・目標 環境省が進める子ども向け環境学習プログラムを紹介し、学校などに配付された教材や資料を使い、楽しみながらする環境学習や環境保全活動のための事業を紹介します。

表4-6 こどもエコクラブの登録数及び人数

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
登録数（団体）	1	1	2	1	1	1	0
人数（人）	20	15	94	15	15	15	0

【環境清掃里親制度（環境政策課）】

環境清掃里親制度は、道路や公園を「子ども」に見立て、市民の皆さんに親代わりになっていただき、我が子へ注ぐ愛情と同様に、公共施設のお世話をしていただくもので、

《第4節 人づくり・地域づくりの推進》

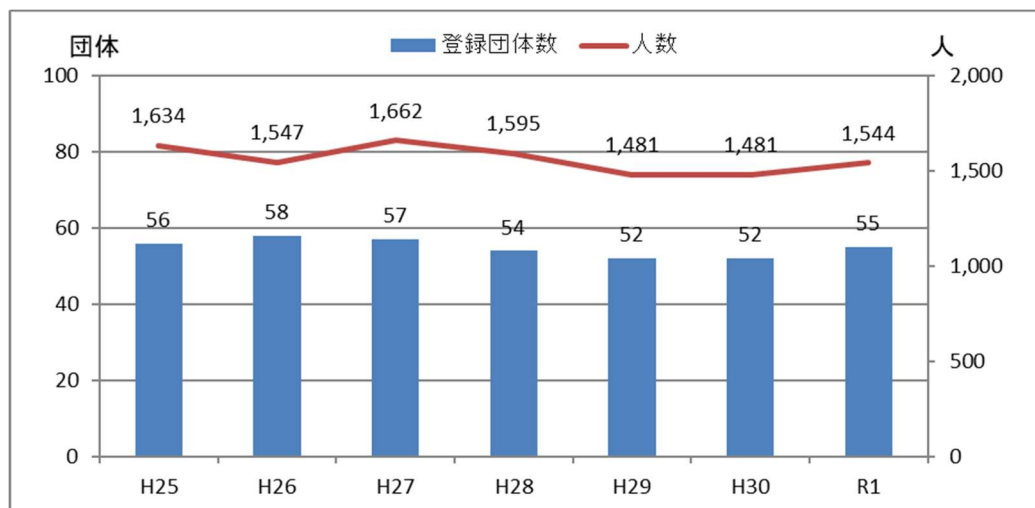
市民の皆さんと市が一体となった環境美化活動を強力に推進し、ボランティア団体・グループの活性化を目的としています。

市は年4回以上の清掃をされる団体・グループに対し、ごみ袋の支給、清掃美化活動中のケガなどに適用される保険（見舞金）の手続き、ボランティア団体及びグループ名を記した表示板の設置等を担当しています（図4-6参照）。

★分析と課題 里親団体と人数が減少傾向にあります。

★方向性・目標 ボランティア団体やグループの活性化を図ります。

図4-6 環境清掃里親制度の登録数等の推移



【公園愛護会（公園花とみどり課）】

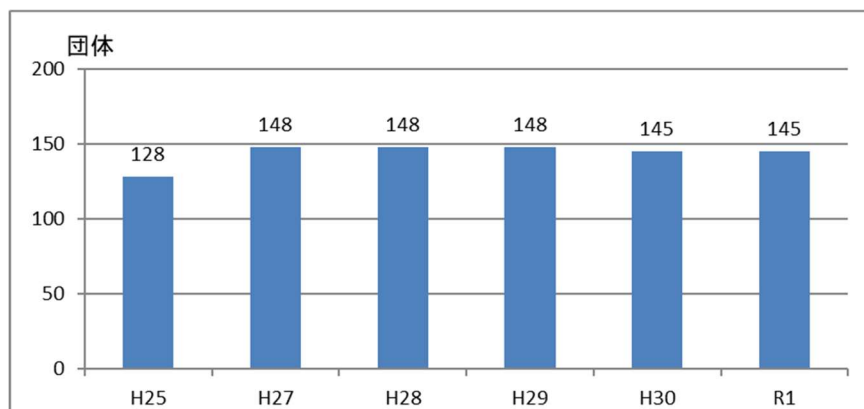
公園が市民の憩いの場、楽しい遊び場となるよう清掃や児童の見守りを行う団体を支援する制度であり、令和元(2019)年度の結成団体数は145団体です(図4-7参照)。

公園愛護会が結成されていない公園もあります。

★分析と課題 公園愛護会設立などの相談に力を入れ、公園を管理していただける公園愛護会がさらに増加することが必要です。

★方向性・目標 設立に向けての相談などに応じます。

図4-7 公園愛護会結成団体数の推移



【景観法に基づく届出による維持活動（都市政策課）】

市では、景観に対する意識や関心の高揚を図り、良好な景観の形成を推進していくため、平成24（2012）年度から「景観法に基づく届出制度」を開始しています。

この届出制度は、市内の建築・改築される建築物等において、周辺の景観と調和が図られているか、景観を阻害する要因となっていないかなどを景観形成基準に基づき確認するものです。特に、市の顔として賑わいの創出を図る「都心軸地区」と山代街道など歴史的景観の保全を図る「鹿野地区」の2箇所を「景観形成重点地区」としています。

景観の届出については、令和元（2019）年度は529件提出されており、関係者への周知が進んでいると思われます。

★分析と課題 景観形成重点地区をはじめとし、市内全域で良好な景観が形成されるように、景観形成基準に沿った指導が必要です。

★方向性・目標 景観に対する意識や関心の高揚を図り、良好な景観の形成を維持・推進していくため、景観法に基づく届出制度による地域と周辺環境との調和を図ります。

【地域対話による社会貢献（環境政策課）】

地域対話とは、企業が地域と相互理解を図るために「対話」を通じて、地域住民の不安や疑問に答え、また自主的な取組を紹介し、事業活動への理解を深めてもらう自主活動のひとつです。令和元（2019）年11月8日（金）に周南地区環境保全協議会主催の「第10回周南地区地域対話」（表4-7参照）が、周南総合庁舎等にて開催され、165名（うち自治会・市民団体58名）の参加がありました。



【第10回周南地区地域対話】

★分析と課題 企業と地域の相互理解のため、対話を継続することが必要です。

★方向性・目標 企業と地域が対話を通じて相互理解を図り、地域住民の安心・安全を第一に環境保全活動に取り組むための対話集会に向けた支援を行います。

表4-7 第10回周南地区地域対話の内容

プログラム
1. 説明会 ●企業紹介 株式会社トクヤマ徳山製造所、タマ化学工業株式会社、 株式会社徳山オイルクリーンセンター ●水素利活用の紹介 ・「『水素先進県』の実現を目指した山口県の取組」山口県商工労働部 ・「水素の話とトクヤマの水素利活用」株式会社トクヤマ徳山製造所
2. 工場見学 ・トクヤマ水素関連施設（御影町） 現場案内：株式会社トクヤマ徳山製造所化成品第一製造部 ・水素ステーション（鼓海1丁目） 施設案内：周南市経済産業部商工振興課

4-2-2 ごみのないきれいなまちづくりの推進

【冬の一斉清掃（環境政策課）】

令和元（2019）年12月14日（土）、市民の皆さんをはじめ、中学校や企業、団体から、402人の方々に参加いただき、周南冬のツリーまつり集中イベント会場周辺の清掃を行いました。

★分析と課題 参加者の集計は、職員が概算で行っており、正確な人数の把握は困難です。

今後とも参加者数が増加していくように、企業など周辺団体への呼びかけ等を行っていきます。

★方向性・目標 市民・学生・事業者・周辺住民が力を合わせ、周南冬のツリーまつりの集中イベント会場周辺を清掃する「冬の一斉清掃」を毎年実施し、来場者へのおもてなしときれいなまちづくりのイメージアップを図ります。

★指標と数値目標

指標	H30 基準値	R6 目標値	R1 現状値	指標の説明
ごみのないきれいなまちづくり清掃活動参加者数【人】	49,541	55,000以上	65,136	ボランティア清掃や大規模なイベントに合わせた清掃活動参加者の年間延べ人数



【清掃の様子】

【空き缶等のポイ捨てその他の迷惑行為禁止（環境政策課）】

市では、「周南市空き缶等のポイ捨てその他の迷惑行為禁止条例」を平成23（2011）年7月に施行し、空き缶等のポイ捨て禁止、飼い犬のふん害防止等に加え指定区域内での路上喫煙、自ら所有・占有しない動物へのえさやり、落書き等を禁止しています。

指定区域内での路上喫煙の禁止行為の違反者には過料処分を行っています。

★分析と課題 ポイ捨てや路上喫煙禁止に関しては、

看板の設置や啓発活動により市民の意識が向上していると考えられますが、一部迷惑行為が続いている場所もあります。希望される市民・団体等に対して、引き続き啓発看板を交付するなど、市民への啓発活動が必要です。

★方向性・目標 平成23（2011）年に施行した「周南市空き缶等のポイ捨てその他の迷惑行為禁止条例」により、空き缶などのポイ捨ての禁止や飼い犬のふん害防止などに加え、指定区域内での路上喫煙の禁止を徹底し、ごみのないきれいなまちづくりを推進します。



【啓発看板】